



ひとりで悩まず、 相談してみましょ

専門の相談員があなたの心の整理をお手伝いし、解決方法を一緒に探します。

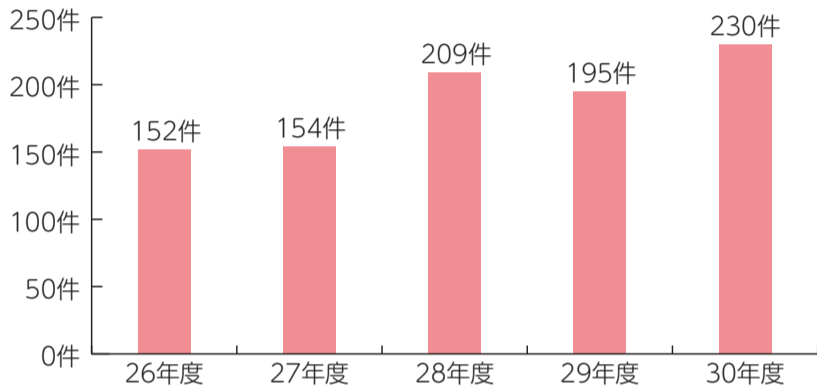
● 女性相談（予約制）

受付日時 火曜日～木曜日
午前10時～12時、午後1時～4時

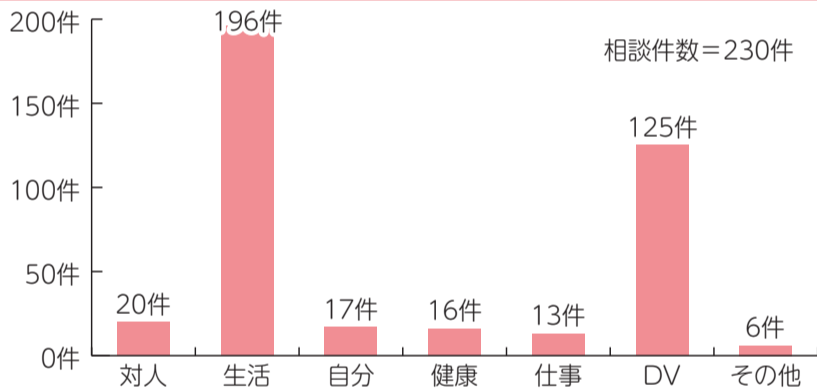
予約電話 048-996-2159

場 所 八潮駅前出張所内相談室

女性相談室 相談件数の推移



平成30年度女性相談室 相談内容内訳（重複内容含む）

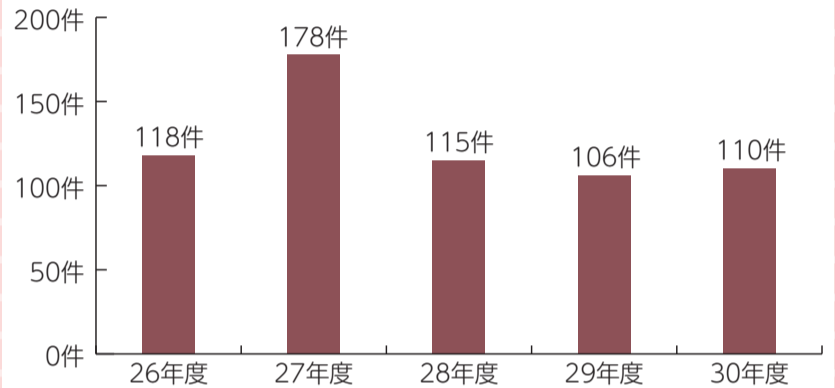


● DV相談（配偶者・パートナーからの暴力）

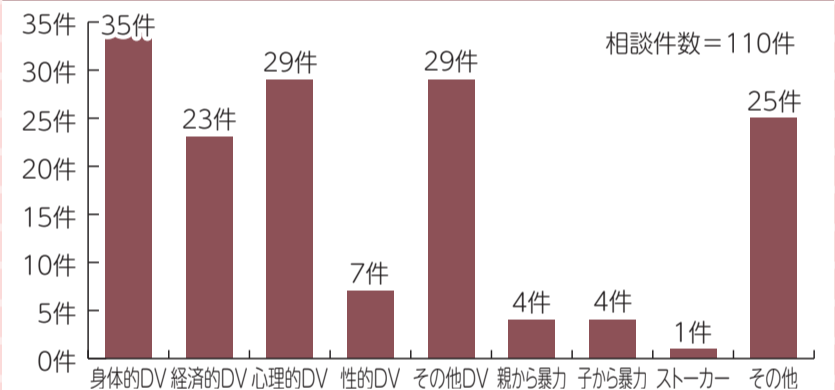
受付日時 月曜日・金曜日
午前10時～12時、午後1時～4時

相談専用ダイヤル 048-996-3955

DV相談室 相談件数推移



平成30年度DV相談室 相談内容内訳（重複内容含む）



☐ 相談室だより

～モラハラで悩んでいる方へ～

DVの中には身体的暴力だけでなく、精神的、経済的、性的暴力も含まれます。また子どもを利用した暴力もあります。特に精神的暴力＝モラハラは、心が痛めつけられ、うつ病を発症する場合があります。モラハラは、加害者が自覚していない場合が多く、中でも加害者がアスペルガーの場合、コミュニケーションが苦手、社会性に欠ける等の課題を持つため、結果モラハラの態度になって相手を傷つけてしまいます。これも、受ける側にとっては精神的DVです。

昨年、開催した講演会「アスペルガー？ それともモラハラ？」の講師SORAさんも、アスペルガーのパートナーを持つ当事者でした。悪意でないことは分かるが言葉が通じない、気持ちを理解してもらえない、自己中心的等、共に生活を続けるための苦労話をお聞きしました。では、どうしたら良いか？



～DVを見て育つ子どもたち～

2004年の児童虐待防止法の改正で、「児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力を目撃すること」が心理的虐待にあたると明記されました。DV被害者の中でも「子どもへの影響が心配」と語る母親は多く、中には「子どもが爪かみを始めた」「攻撃的な言動が出てきた」「学校に行きたがらない」等、目に見える問題が浮上してくることもあります。

DV目撃に曝された子どもの精神健康に関する研究では、行動や情

「まずは一人で何とかしようと思わないこと。自分ひとりでは耐えられません。仲間が必要だし、聞いてもらい分かってもらうことが大切です。相手に巻き込まれず、自分の意思をしっかり持ち、振り回されないようにしないと一緒に暮らすことはできません。」SORAさんの貴重な体験と研究からのアドバイスです。

相談室では、そうした悩みを持つ方のご相談もお受けしています。何かおかしい、苦しいと思ったら、どうぞご相談ください。まずは自分の辛さを話すことから始めてください。お待ちしております。

（女性相談員・産業カウンセラー）

※アスペルガー：アスペルガー症候群の略。自閉症スペクトラムの一種。知的な遅れは伴わず、コミュニケーションの障がい、対人関係・社会性の障がい、パターン化した行動、興味・関心のかたよりの特徴としてあげられます。

緒の障がい、社会適応の問題、発達の遅れ、攻撃性、不安・抑うつ、トラウマ症状等の様々な症状の出現が報告されており、DVは被害者だけでなく子どもの状態悪化にも影響しています。DVを目撃して心にダメージを受けた子どもたちの中には、警戒した様子で大人を見ていたり、大人の期待に沿うような良い子を演じたりと、どこか不自然さを感じる事が多くあります。暴力による父母の支配関係を見て、人との関係に安心感を持っていない姿をみると、DVに曝されてきた子どもたちの大人になってからの課題を垣間見る思いです。

（女性相談員・臨床心理士）